

挑む!

ラグビーで町おこし 町職員

滝本 拓哉さん(32)

W杯合宿地 売り込みトライ



龍谷大(短大部)時代は19歳以下日本代表。強豪高校も参加する春のラグビーフェスタを立ち上げ、今年で6回目。7人制女子チームの代表も務める。

近年、ラグビーの日本代表やトップリーグのチームが次々と合宿し、今秋、国内で開かれるワールドカップ(W杯)でもナミビア代表がキャンプ地とする和歌山県上富田町。梅やミカンの生産地でもある山あいの町を、ス

化選手になるよう勧めてくれた。この恩師は当時、県のアドバイザー。「腰掛けでなく、地域のために働きなさい」との言葉が響いた。

2012年4月に上富田町に採用された。天然芝2面、人工芝1面のグラウンドがあり、年間を通して温暖。いかさぬ手はない。トップリーグ強化担当が集まる会議に顔を出しては名刺を配って売り込んだ。性格は「人なつっこいですね」。W杯キャンプ地立候補にあたっては筋トレ施設の充実が不可欠だった。「介護予防の観点からも町にとつて必要」と説き、賛同を得たことで誘致に成功した。

選手としても15年のわかやま国体で3位に。「自分の武器を地域にいかせれば幸せ。僕にとつてはそれがラグビーだった」

◆「挑む!」は今回で終わります。
文・写真 有田憲一

記者から

取材アポをとった後、「泊まりで来て下さいね!」と明るく付け加えられた。敏腕営業マンだ。